



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 小林 俊夫
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
委員 吉田 一徳



弟子屈町教育委員会
〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

「マニアックな図書館」

教育委員 吉田 一徳



私は幼少の頃から動物や動物園が好きで、40歳を過ぎた今でも動物園や水族館に通っています。今までに動物園は国内外で32か所、水族館は24か所行きましたが、そのなかでも教育観点からいいなと思った事例をいくつか紹介します。

記念すべき一つ目は京都市にある京都市動物園です。この動物園は1903年に開園した国内で2番目に古く、釧路市動物園より圧倒的に敷地面積の狭い動物園ですが平安神宮や美術館のそばにあり、ちょっと時間があるときにふらっと立ち寄れる庶民的動物園だなと感じました。また園内はあちらこちらでリニューアルされていて、エリアごとにテーマに沿った動物展示をみることができ、ゴリラの親子やムジヒメシャクケイなどのレア動物を観察することができました。

その中でいいなと思った施設は2015年にリニューアルオープンした図書館です。この図書館は正面エントランス内の無料エリアにあるため、だれでも気軽に本を読むことができます。さらにカフェも併設しているので、暑さや雨を避けつつコーヒーと本を一緒に楽しめる施設です。本は生物関連ばかりで幼児向けから専門書、洋書と幅広くあり、某オークション等で高値取引されている本やマニアックな洋書まであるので動物好きは時間を忘れるほど滞在できると思います。

この図書館に限らず近年は単に本を読む、借りるだけの図書館ではなくユニークな図書館が全国でオープンしています。書架や建物のデザインにこだわった図書館やカフェ併設、複合施設に入った図書館など形態は様々です。



そんな図書館を見てしまうと弟子屈町の図書館は小さく、オールドスタイルに見えてしまいます。しかしながら町内の数少ない文化施設として、色々な方が知恵を出し合いながら老若男女とわず町民皆が集える場所として、この先維持発展できるよう願うばかりです。

次回リレーコラムは榎本職務代理です。



教育あっちこっち情報



北海道市町村教育委員研修会への参加

教育委員 金井 秀明

第55回北海道市町村教育委員研修会が札幌で開催されました。全道各地から教育委員や教育関係者約700名が参加した研修会でした。功労者表彰や事務報告がされた後、講演がありました。講師は北海道教育委員会委員の山本伸弘氏で、「子供の心と体を育てる」という演題でした。山本氏は体育が専門で、多くの公立高校の校長をなされ、最後は北海道警察学校に勤務された方です。ご自分の体験を交えながらのお話で、勉強になった講演でした。一番印象に残ったことをここで紹介させていただきます。人間の神経発達において運動に関する神経が、最も発達する時期をゴールデンエイジと呼び、9歳から12歳位がこれにあたるそうです。この時期にはどんな運動でも良いのでさせなさいとの事でした。TVゲームではなく体を動かす事が必要ですね。



美留和小学校運動会

教育委員 菅原 誓之

今年もいよいよ、町内各学校での運動会シーズンが始まりました。父母や親戚も集まり、地域によっては自治会の一大行事である運動会です。

6月17日（日）美留和小学校の運動会を拝見させていただきました。児童のアナウンスのもと進行が行われ、自治会の皆さんやPTAの方々の協力で競技が着々と進みました。またこの日は、弟子屈町民生・児童委員の方々や役場担当部所の方も参加し、楽しい・なごやかな運動会となりました。地域に支えられる学校の大切さと・それに応える子供たちのたくましさを感じる日となりました。



第一回川湯コミュニティ運動会に参加しました

職務代理 榎本 悦子

6月16日は第一回川湯コミュニティ運動会が開催されました。昨年までは、保育園と小学校と一緒に運動会を行ってききましたが、今年度から小学校と中学校が地域コミュニティスクールに指定されたので保育園～中学校という大所帯なものとなりました。ただ、昨年までも三世代の応援が多く、その他学校菜園を指導してくれる方・読み聞かせの方・自治会の方々が見に来てくれる等これまでと同じような運動会の風景がありました。それでも最初に校長先生がコミュニティスクールについて丁寧に説明してくださり、皆自分が参加する意味のようなものを感じたと思います。事実、後日会った地域の方に「これからはみんなで子供達をみるって言っていたね」と言われました。説明する大切さを思いましたし、何だかとても嬉しくなりました。



中学3年生！弟子屈高校でOBの講話と体験授業

教育長 小林 俊夫

6月22日、弟子屈高等学校が主催して、弟子屈中学校と川湯中学校の3年生を迎えての「みんなの弟高デー」が開催されました。この事業は高校受験を控えた中学生と高校生との交流を通して、弟子屈高校を身近に感じてもらうことや、高校の教員から授業を受けるなど、弟子屈高校での学習への期待感を更に高めることなどを目的として行われました。最初に特別ゲストとして招かれた弟子屈高校卒業生の教育委員会社会教育係の山野太郎さんと、摩周丘幼稚園教諭の藤原 南さんから、弟子屈高校を選択した経緯や素晴らしいことについて語ってくれました。その後、高校の先生による保健体育・英語・数学の体験授業では、高校生も加わりながら一日中高校での「授業」と「交流」が行われました。中学3年生にとっては初めての高校体験となり、中学校との違いを肌で感じる事ができたのではないのでしょうか。

貴重な体験の場を与えて頂いた弟子屈高等学校の皆さんに心から感謝申し上げます。



「怪我」

教育委員 吉田一徳

今回は個人的な題ですが人生で初めての骨折、入院を経験しました。

この入院で3週間車椅子で生活して、売店の冷蔵庫にある一番上のペットボトルが届かなかったり、ちょっとした段差が乗り越えられないなどの苦労がありました。普段なら全く気にならない日常も、この経験で様々な方々の生活の不便さを知る機会になり、いろいろと考えさせられる時間となりました。



★ ★ 編集後記 ★ ★

天候不順な日々が続くこの夏。酪農業や農作物への影響が心配です。そんな天気の中、創立70周年の節目となる、第57回弟子屈高校の学校祭が行なれ、同窓会提供のもと、打ち上げ花火を見る事ができました。ご協力関係者の皆様有り難うございました。（菅原）